

三中部活動安全マニュアル

剣道

	予測される危険	安全対策
用具	<ul style="list-style-type: none">●竹刀のささくれ、割れにより目に破片が入ったり体に刺さったりする。	<ul style="list-style-type: none">●日常的に竹刀の手入れを行わせる。
環境	<ul style="list-style-type: none">●床の状態（汚れ、削れ、破損）による怪我●竹刀など置いてあるものを踏んで転倒する●熱中症	<ul style="list-style-type: none">●日頃のチェック。ぞうきん掛けやモップ掛け。必要があれば修繕する。●練習者や試合者の周りに竹刀を置かせない。●気温や風通しに注意。適宜休憩、水分補給の時間を取る。
練習中	<ul style="list-style-type: none">●防具等の着装の乱れによる事故●素振りが周りの人に当たる●稽古中の転倒、部員同士の衝突●打突部位を外すことによる打撲	<ul style="list-style-type: none">●紐はほどけないようにしっかり結ぶ。袴の裾が長すぎると転倒の原因となるので適切に。●胴は上下左右バランスよくつける。●適切な間隔を保たせる。●適切な間隔を保たせる。●正確な打突の指導を徹底する。

※救急箱を用意し、怪我の際はすぐに応急処置ができるようにしておく。